



News Release

一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL: 03-3593-0139
FAX: 03-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

令和4年10月21日

第21回「物流連懇談会」を開催

(一社)日本物流団体連合会(池田潤一郎会長)は、10月20日(木)、東京都千代田区の学士会館において、第21回「物流連懇談会」を開催した。この物流連懇談会は、物流業界の幅広い会員の参加を得て、会員への情報提供、会員相互の情報交換・交流のために行われている。コロナ禍が継続する昨今ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで対面にて開催する運びとなった。今回は、株式会社ニチレイロジグループ本社 代表取締役社長である梅澤一彦氏から「未来へ続く、低温物流」と題する講演が行われ、会員企業の代表者や幹部など68名の参加があった。

冒頭、池田物流連会長の挨拶ののち、講演会が始まった。

講演では、会社概要の説明の後、単身世帯の増加や小世帯化の加速により冷凍食品需要が増加する一方で、日本の総人口減少といった環境変化も予想されることを踏まえ、低温物流事業の持続的成長に資する取り組み事例を中心に講演された。

ニチレイロジグループでは、コールドチェーンの川上から川下まで幅広く事業を展開しており、これまで蓄積してきたノウハウを活用して様々な取り組みを行っている。具体的には農業生産地において農作物への付加価値サービスとして急速凍結や流通加工他の提供により農産物の安定供給・フードロス等の社会課題の解決を目指す取り組み、低温施設に関するエンジニアリング全般をトータルサポートすることにより社外の低温施設管理の全体最適を顧客価値として提供する取り組み、欧州においても9ヶ国47ヶ所に拠点を擁し、川上領域から川下領域まで現地に根付いた事業展開により食品の低温物流ネットワークを構築し、欧州の食の流通への貢献を目指す取り組み等が紹介された。

最後に、物流業界のマイナスイメージを払拭するべく組織風土の変革、組織内におけるイノベーションを推進し、物流を花形職種へと変えていく必要性を強調された。

講演後には、最近の欧州地域の情勢を受けエネルギーコスト増他による欧州コールドチェーンビジネスへの影響、欧州以外の海外へのコールドチェーン展開の見通し等についての質問に対して、梅澤社長から詳細かつ丁寧な回答をいただき、盛況のうちに物流連懇談会を終えた。

梅澤社長の講演内容から、多彩な低温物流サービスの展開により国内そして海外においても豊かな食生活を支えるニチレイロジグループ本社の目指す事業ビジョンを垣間見ることができた。

以 上
担当：森下



池田会長の挨拶



講演する梅澤社長



講演する梅澤社長



講演する梅澤社長



懇談風景



講演会風景